

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（相生地区）

日 時	令和8年6月29日（月）午後7時00分～午後8時00分
会 場	相生花菱コミュニティルーム
参 加 者	63名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	・旧相生小学校体育館の老朽化対策について 相生地区には旧相生小学校の体育館やグラウンドがあり、相生地区の方の健康づくりのための運動の場所になっているが、体育館は設備が古く利用団体からも改修の要望が出ている。 体育館の屋根の一部の雨漏り改修工事については令和6年度に、暗幕の取替工事については令和7年度にしていた。 屋根については全面的に経年劣化による錆が発生しており、塗装等をお願いしたい。また、トイレが和式であり、高齢者や児童等が利用するにあたり怖いと要望がでている。 そのあたりをぜひ予算に取り入れてもらいたい。
樋口市長	甲府市スポーツ協会の様々な事業の先頭に立ってご協力いただき感謝申し上げます。 旧相生小学校体育館については、雨漏りの原因であった屋根頂上部の「棟笠木」と雨どいを改修する防水工事を令和6年度に実施するとともに、令和7年度には、暗幕を全面的に交換するなど、体育館の環境改善に努めてきた。 令和7年度に実施した法定点検である「公共建築物及び建築設備定期点検」において、現状、雨漏りについては、問題がないことを確認している。 また、体育館については、避難所としての機能を更に拡充するため、今年度から優先的に空調設備の整備を進めていき、旧相生小学校体育館は、令和11年度の整備を計画している。 トイレの洋式化については、子どもたちが日中生活の場としている学校の校舎を最優先に進めてきたところであり、今年度で整備が終わる予定であるので、引き続き、体育館等のトイレの洋式化を、計画的かつスピード感を持って整備を進めていく。

質問	昔は、洋式トイレは誰が座ったか分からないから嫌という考えがあったが今は逆で、洋式トイレでないと不便だと話を聞いているので、しっかり進めていく。
まちづくり部長	・空家対策について 相生地区には空家が多くある。長らく手付かずの状態の空家は草木も伸びジャングルのようにになっている。アライグマやハクビシンが住み着き、先日は市に捕獲してもらった。 また、見知らぬ人が空家に入る姿も見受けられ、大変物騒であり放火も心配である。 このような状況の中、甲府市としてどのように空家への対策をお考えか。持ち主の確認や連絡は行っているのか。 空家は適切な管理を怠ると近隣の生活環境に様々な悪影響を及ぼすことになる。 このため本市では、市民の皆様からの情報提供などに基づき、空家の状況把握や所有者の確認等を行う中で、管理が不全な空家の所有者に対して適正な管理について記載した通知の送付や、対面による指導などを行い、所有者責務による適切な管理を促している。 こうした指導などによっても適切な管理が行われず、保安上、衛生上著しく危険と判断される空家については、特定空家等の該当判断を行い、段階的に勧告等の行政指導や、命令、戒告等といった行政処分を実施している。 なお、相生地区では、これまで3件の空家を特定空家等として該当判断し、所有者への指導や除却費に係る助成制度の活用などの助言を継続して行い、3件すべての建物が除却された。 今後においても、空家の所有者に対する管理意識の啓発に努めるとともに、自治会の皆様からいただく管理が不全な空家などの相談については、所有者に対して保安上、衛生上問題があることを認識してもらい、改善を促していく。 また、空家問題は様々なケースがあるが、利活用可能な状態のうちに対応を図ることが重要であると考えていることから、空家の利活用や困りごとがある場合、遠慮なく、まちづくり部空家対策課の相談窓口にご相談をいただくようお願いする。

質問	・災害に備えた避難所環境の整備や訓練などについて 相生地区は高齢者の大変多い地区である。地区社協が災害避難について質問をした際の回答として、避難所に避難する方と自宅待機される方が半々だった。 先日のダブル台風の報道の中、ある高齢者が旧相生小学校へ避難するより老人福祉施設に行った方が近いと言う。その後地震がきて、幸いにも避難者がいなかったが、仮に大勢来たらどうなるかと危惧している。 避難所が開設した時には、受け入れ体制が必須である。市の職員は何名待機してくれるのか。また、コロナ前は自治会ごとに、市職員と一緒に災害対策の話し合いがもたれていた。コロナも収まってきたのでぜひそういう場を再開していただきたい。その時には若者及び高齢者の意見も取り入れてほしい。 各住民に徹底した災害避難学習、準備、予知、伝達、実情に合った避難訓練、災害学習を希望するとともに、高齢者に合ったきめ細かな、安全安心なまちづくりを望む。
危機管理監	先日の地震やダブル台風をはじめ、自然災害が激甚・頻発化し、少子高齢化や人口減少が進む中、地域の実情に即した防災・減災の取組を進めることが重要である。 こうした中、高齢者をはじめとする市民の皆様に災害時の避難情報等を迅速に伝達できるよう、「防災行政用無線」を基軸としながら、「甲府市防災アプリ」など複数の情報伝達手段の確保に努めるほか、「わが家の防災マニュアル」や「洪水ハザードマップ」等の冊子をご家庭に配布する中で、避難行動を事前に整理しておく「マイ・タイムライン」の作成など、速やかな避難行動につながる事前の備えの重要性について、広く周知を図っている。 さらには、高齢者などの自力避難が困難である避難行動要支援者を対象とした「避難行動要支援者名簿」を作成し、ご本人同意のもと、警察署や消防本部、自治会などの関係機関と情報共有を図る中で、避難支援体制の構築に努めている。 また、本市では、災害時に備え、迅速な避難所の開設や災害対策本部との連絡調整など初動体制を確立するため、市職員を地域連絡員として全ての避難所等に配置しており、相生地区で

樋口市長 (まとめ)	は、相生小学校体育館と自治研修センターで併せて7名の地域連絡員を配置している。 そこでは、避難所運営委員会の皆様と協働で対応することとし、加えて、全庁体制で被災状況の把握や物資の供給体制、生活支援に関する情報発信等に取り組むとともに、救出・救助活動に資するよう、警察・消防等の関係機関との連携を図ることとしている。 また、各ご家庭には、食料や飲料水、生活用品などについて、7日分の家庭内備蓄を推奨しており、相生地区の指定避難所である「市役所南庁舎」と「南庁舎別館」の防災倉庫には、合計で、アルファ化米を2,000食分、飲料水を456リットル、簡易トイレなど、避難生活に必要な備蓄資機材を配備するとともに、市内の防災拠点倉庫にも備蓄をしており、こうした備えにより災害時の対応を図ることとしている。 今後においても、避難体制の充実や相生地区の避難所における良好な生活環境の確保に取り組むとともに、相生地区自治会連合会の皆様と連携する中で、地区の実情や意向に沿った「地区防災研修会」や「防災に関する出前講座」などを時宜にに応じて開催し、高齢者をはじめとする相生地区の皆様の「安全・安心」の確保に努めていくので、ご理解とご協力をお願いする。 月曜日のこのような時間に説明会に来ていただき、感謝申し上げます。 最上位計画のため、大まかな話になってしまったが、総合計画の下に子育て支援計画や男女共同参画プランなどの個別計画がそれぞれにぶら下がっている。 今日話してなかったことについてお聞きになりたい場合は市役所にご連絡いただきたい。 いただいたご意見やご要望についてしっかりと受け止めていく。 旧相生小学校体育館は稼働率も高く、重要な施設であることからしっかりと整備していきたい。 空き家対策は全市的な課題である。空き家は個人の財産であり個別対応となるため時間を要するが、粘り強くやっていく。 かつては単位自治会ごとに研修会をやらせてもらっていた。コロナ禍でできなくなってしまったが、一昨日地震があったの
-----------------------	--

	で、そういった研修会の必要性を含めて庁内でも様々な検証をさせていただき、改めて皆様と災害に強いまちづくりをめざしていきたい。
地区からの挨拶要旨	
相生地区自治会連合会会長	歴史ある相生地区であるので、皆様ぜひともよろしく願います。